

坂祝町財政状況

平成23年度決算

平成24年度上半期補正予算

平成24年12月

坂 祝 町

平成 23 年度 坂祝町の財政状況

1 平成 23 年度一般会計決算の状況

① 決算規模

平成 23 年度における、当町の一般会計の決算規模は、歳入 3,050,359 千円（前年度 3,083,378 千円）歳出 2,763,113 千円（前年度 2,809,446 千円）となり、歳入歳出差引額は 287,246 千円となりました。

※一般会計の決算状況は、平成 23 年度地方財政状況調査の数値に基づいて作成しています。

② 決算収支

平成 23 年度における当町の一般会計決算収支の状況は、第 1 表のとおりです。

当町の実質収支（歳入歳出差引額から繰越明許等のための翌年度へ繰越すべき財源を控除した額）は、93,049 千円で前年度に比べ 143,793 千円（対前年比 39.3%減）減少しましたが、平成 23 年度決算において黒字決算となりました。これらは一般財源として翌年度へ繰越されます。また、実質公債費比率（18%を超えると協議制から許可制へ移行、25%を超えると起債に対して制限される場合がある）は、11.4%（対前年比 0.2 ポイント減）と前年度に比べ下落し、依然低い数値で推移しているため当町の財政は健全であるといえます。

第 1 表

（単位：千円）

歳 入 総 額	3,050,359
歳 出 総 額	2,763,113
歳 入 歳 出 差 引 額	287,246
翌年度に繰越すべき財源	194,197
実 質 収 支	93,049
単 年 度 収 支	△ 143,793
積 立 金	131,530
繰 上 償 還 金	0
積 立 金 取 崩 額	0
実 質 単 年 度 収 支	△ 12,263

③ 歳 入

歳入については、第 1 図及び別表 1-1、1-2 のとおりです。

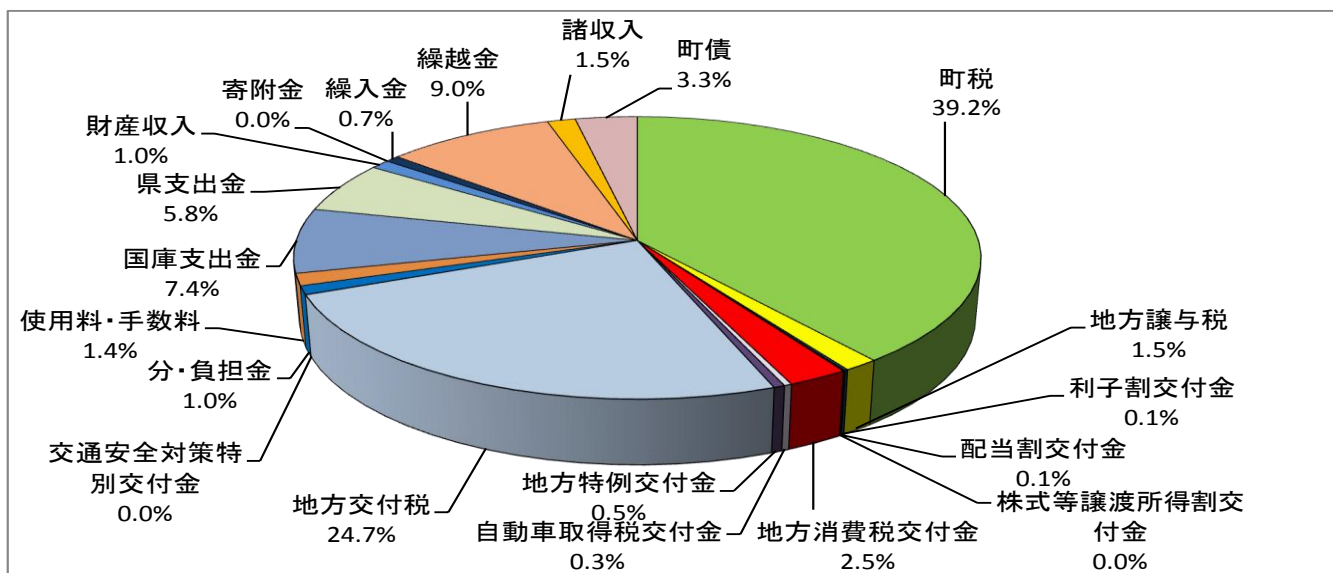
歳入総額は、3,050,359 千円で前年度（3,083,378 千円）に比べて 33,019 千円（対前年比 1.1%減）減少しました。

第 1 図 歳入決算構成比のとおり歳入の主な内訳は、町税 1,196,122 千円（構成比 39.2%）、地方交付税 752,683 千円（24.7%）、国・県支出金 401,699 千円（13.2%）、繰越金 273,932 千円（9.0%）、町債 100,000 千円（3.3%）となっています。

主な増減理由としては、町税において評価替えなどによる宅地の下落（△0.9%）、企業の投資控えによる償却資産（△8.0%）の減などから固定資産税が減少したものの町の主要産業である自動車関連企業等は回復傾向にあり、2 年連続法人町民税が増額となり、町税全体では増収となりました。また、国の震災復興に向けた取り組みなどから地方交付税は、前年度に比べ 33,971

千円（対前年比 4.7%増）増加しています。一方、国・県支出金 56,028 千円減（対前年比 12.2%減）や後年度への負担の軽減策として町債（臨時財政対策債対前年比 65.6%減）を大幅に減額したため前年度歳入総額を 33,019 千円（対前年比 1.1%減）下回りました。

第 1 図 平成 23 年度歳入決算構成比 (単位：%)



④歳 出

歳出の決算については、第 2 図及び別表 1-3 のとおりです。

歳出の総額は 2,763,113 千円で、前年度（2,809,446 千円）に比べ 46,333 千円（対前年比 1.6%減）の減額になりました。

第 2 図のとおり目的別歳出の状況をみますと、当町においては総務費、民生費、土木費、教育費の部門の構成比が全体の約 7 割を占めています。議会費では、議員年金の廃止に伴い、退職一時金等に対応するため議員共済費として町負担分が約 15,000 千円増加しました。

総務費においては、美濃加茂市との共同でのクラウド化に伴い、総合行政情報システムの導入経費として約 39,000 千円を支出しましたが、基金積立金の減額などにより前年度（616,166 千円）に比べて 4.1%の減少となりました。

民生費の総額は 782,277 千円の決算額となり、前年度（757,910 千円）に比べ 3.2%の増加になりました。主な内容は、介護保険特別会計などへの繰出金（153,765 千円）の増加があげられます。

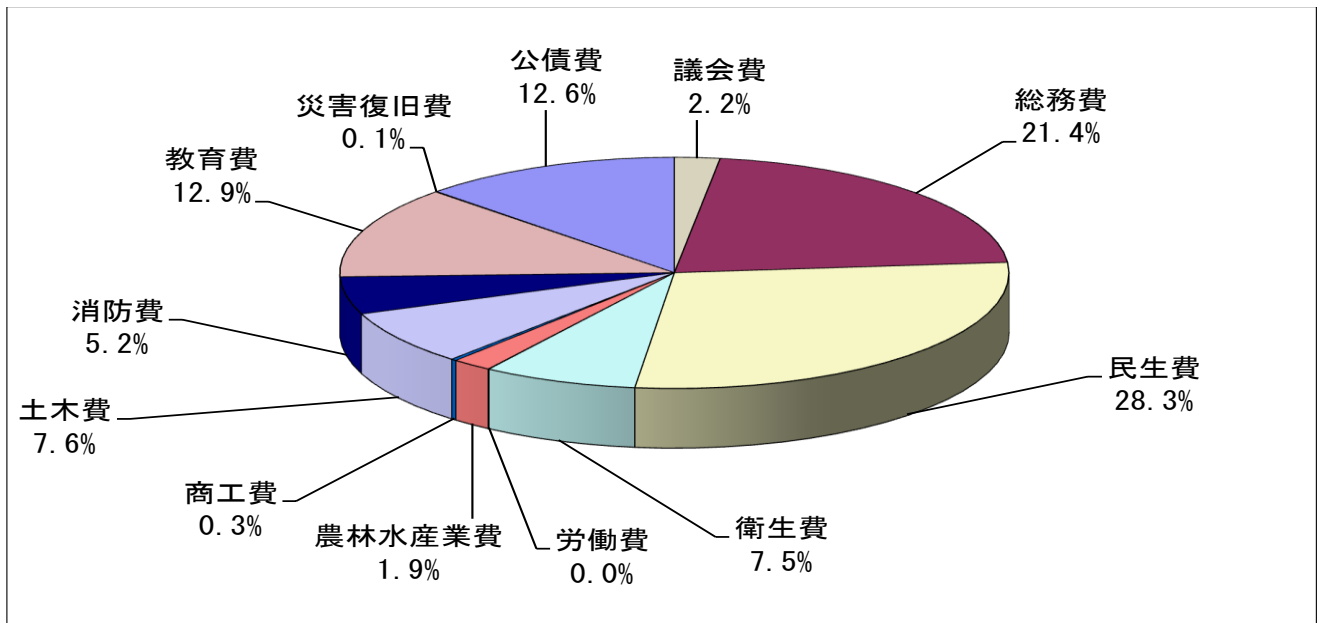
消防費では、東日本大震災を目の当たりにしたことで防災事業に力を入れたこと、また被災地への職員派遣や支援物資の提供などを行い、前年度（14,939 千円）に比べ 11.5%の増加となりました。

教育費の総額は 356,856 千円で、前年度（418,807 千円）に比べ 14.8%の減少となりました。各施設の改修工事等を行いました。平成 22 年度に国からの補助を受けて行った中央公民館空調設備設置工事の完了に伴う減が大きく影響しています。

土木費については、翌年度への繰越事業が多く、前年度比 4.3%の減額となりました。

第2図 平成23年度目的別歳出決算構成比

(単位：%)



歳出の主な性質別内訳をみますと、義務的経費（人件費、扶助費及び公債費の合計）は1,358,253千円で、前年度に比べて39,083千円（対前年度比3.0%増）の増額となりました。

一方、任意的経費のうち普通建設事業費は175,986千円で、前年度比29.8%の減となりました。減額の主な内容としては、公民館関係修繕工事の完了及び町道新設にかかる用地取得費、工事費などの減額及び翌年度への繰越事業が多数あったことがあげられます。当年度事業としては、総合行政情報システムの導入や学校施設等の改修、防災関係工事などの事業を行ないました。

次に財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、83.9%で前年度（78.7%）に比べて5.2ポイント上昇しました。この理由としては、義務的経費が年々上昇していること及び前年度からの繰越金が多かったことから、後年度への負担軽減のため借入を抑制することとした結果、臨時財政対策債の発行を100,000千円（前年比191,000千円減）に抑えたことで比率の上昇につながりました。比率の上昇は、町民ニーズに対応するための財源圧迫につながるため、今後も85%を上回らないよう歳入の確保に力を注ぐとともに無駄を省いた事業の推進をしていきます。

⑤将来にわたる財政負担

平成23年度以前に公共事業等の財源として発行された町債現在高は、「別表1-6 町債現在高の状況」に示すとおりであり、平成23年度末では2,653,653千円となり、前年度末現在高(2,842,082千円)に比べて188,429千円（対前年比6.6%減）減少しました。

その要因としては、今年度の新規借入額が元本償還金を下回ったことと予定していた事業分の借入れが翌年度に繰り越されたことによるものです。また、今後の見通しとして、元利償還金のピークは平成25年度を予定しており、以降は町債による元利償還金の返済額も減少し、財政負担は軽減される見込みです。

2 平成 23 年度特別会計決算の状況

平成 23 年度特別会計（会計数 5 会計）の決算額は、第 2 表及び別表 1-8 のとおりです。

第 2 表 特別会計決算の状況

（単位：千円）

会 計 名	最終予算額	決 算 額		
		歳 入	歳 出	差引額
国民健康保険特別会計	849,970	860,575	786,842	73,733
農業集落排水事業特別会計	38,681	38,625	36,833	1,792
公共下水道事業特別会計	190,339	188,409	182,607	5,802
介護保険特別会計	439,368	431,407	422,052	9,355
後期高齢者医療特別会計	54,920	55,855	54,367	1,488
特 別 会 計 合 計	1,573,278	1,574,871	1,482,701	92,170

（注）この資料は、平成 23 年度決算資料に基づくものです。

国民健康保険事業の決算については、予算総額 849,970 千円に対して、歳入総額 860,575 千円、歳出総額 786,842 千円で、73,733 千円の繰越しとなりました。前年度繰越金 38,128 千円を除く単年度収支は 35,605 千円の黒字ですが、翌年度清算される療養給付費等負担金及び療養給付費交付金等については、合計で 6,258 千円の超過交付（返還予定）となりました。これらの返還予定となる金額を差し引き基金積立金 17 千円を加えた実質的な単年度収支は 29,364 千円となります。

医療費については年々増加傾向にあり、抑制を図るため、11 月にジェネリック医薬品啓発パンフレットを全被保険者へ配付しました。今後はジェネリック医薬品の差額通知を発送することを計画しており、増加する医療費の抑制を図っていきます。受診状況を全体的に見ると、1 人当たりで一般被保険者 13.1 回（前年 12.8 回）、退職被保険者等は 17.5 回（前年 16.7 回）と一般被保険者、退職被保険者ともに増加しています。今後も疾病予防・早期発見・早期治療の推進をより一層図るため、特定検診・特定保健指導等の保健事業を強化していきます。

農業集落排水事業は、平成 7 年度までに予定した計画事業が終了し、現在は維持管理型の会計となっています。農業集落排水事業特別会計決算については、予算総額 38,681 千円に対し、歳入総額 38,625 千円、歳出総額 36,833 千円、差引額 1,792 千円の繰越しとなりました。農業集落排水事業の現状は、加入戸数 545 戸（対前年比 4 戸増）、加入者数 2,216 人（対前年比 8 人増）で加入率は 75.1%（対前年比 0.3%増）となっています。

公共下水道事業は、当町にとって住民の良好な生活環境づくりと公共用水域の水質保全を図るための重要な事業です。現在、下水道区域面積 289ha、処理人口 5,730 人の事業認可を受け、平成 23 年度末までに約 249.2ha（計画面積に対して 86.1%）の整備を行ない、普及率は 97.6%となっており、全町下水道化に向けて鋭意努力しています。公共下水道事業特別会計決算については、予算総額 190,339 千円に対し、歳入総額 188,409 千円、歳出総額 182,607 千円、差引額 5,802 千円の繰越しとなりました。

介護保険事業の現状として、当町における介護保険の第1号被保険者（65歳以上高齢者）は平成24年3月末現在1,616人（19.0%）、そのうち要介護（支援）認定者は、第1号被保険者で238人、第2号被保険者は8人で合わせて246人です。サービス利用者については、居宅介護（介護予防）サービス利用者145人（対前年比5.1%増）、地域密着型（介護予防）サービス利用者22人（対前年比22.2%増）、施設サービス利用者38人（対前年比2.6%減）、サービス未利用者41人となっています。介護保険特別会計決算は、予算総額439,368千円に対して、歳入総額431,407千円、歳出総額422,052千円、差引額9,355千円の繰越しとなりました。

後期高齢者医療制度は、岐阜県後期高齢者医療広域連合が保険者として運営を行っております。町が町内の被保険者から保険料を徴収し、広域連合に納付する業務を行っており、この特別会計は、その徴収及び納付に関する事業費が主な内容となっています。決算については、予算総額54,920千円に対し、歳入総額55,855千円、歳出総額54,367千円、差引1,488千円の繰越しとなりました。

後期高齢者医療特別会計の特徴として、保険料収入及び一般会計繰入金歳入の93.23%ほどを占め、それに対する岐阜県後期高齢者医療広域連合への保険料分の納付金及びその他負担金が歳出の92.31%以上を占めており、その他の支出は会計の維持・管理のための総務費及び被保険者の健康管理・増進のための保健事業費となっています。被保険者への給付については岐阜県後期高齢者医療広域連合が取りまとめて行なっています。

平成 24 年度予算の状況

(1) 補正の状況

平成 24 年度予算の補正状況及び執行状況は、別表 2-1、2-2 のとおりです。

① 一般会計（繰越明許費を含む）

一般会計の補正は、歳入において次の補正を行ないました。その内訳は、町税において個人町民税（20,822 千円減）、固定資産税（19,916 千円減）、保育所等緊急整備事業補助金等として県支出金（33,813 千円増）などとなっています。そのほかに普通交付税算定額確定に伴う地方交付税（40,441 千円）の増額、前年度繰越額の確定に伴う繰越金の増額（43,049 千円）、町債の減額（△60,000 千円）などを行ない、平成 24 年度 9 月定例会までに総額 58,956 千円を増額補正し、平成 24 年度予算総額を 3,081,956 千円としました。

歳出において増額の主な内容としては、民生費で保育所等緊急整備事業費補助金、国民健康保険特別会計繰出金など 54,733 千円、土木費で道路維持修繕業務委託など 10,739 千円をそれぞれ追加予算計上しました。そのほか総務費では入札による委託等の差金を 14,366 千円減額しています。国県の補正予算等の財源を活用しながら当初予算への計上を見送ったものや緊急性の高い事業などを中心として総額 58,956 千円を増額しました。

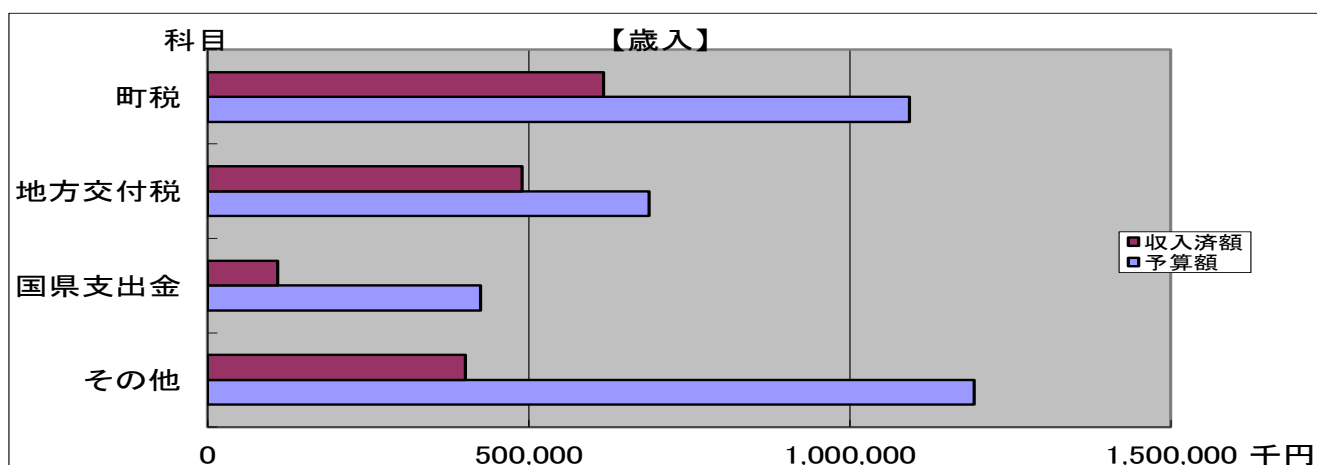
・執行状況（9 月末現在）

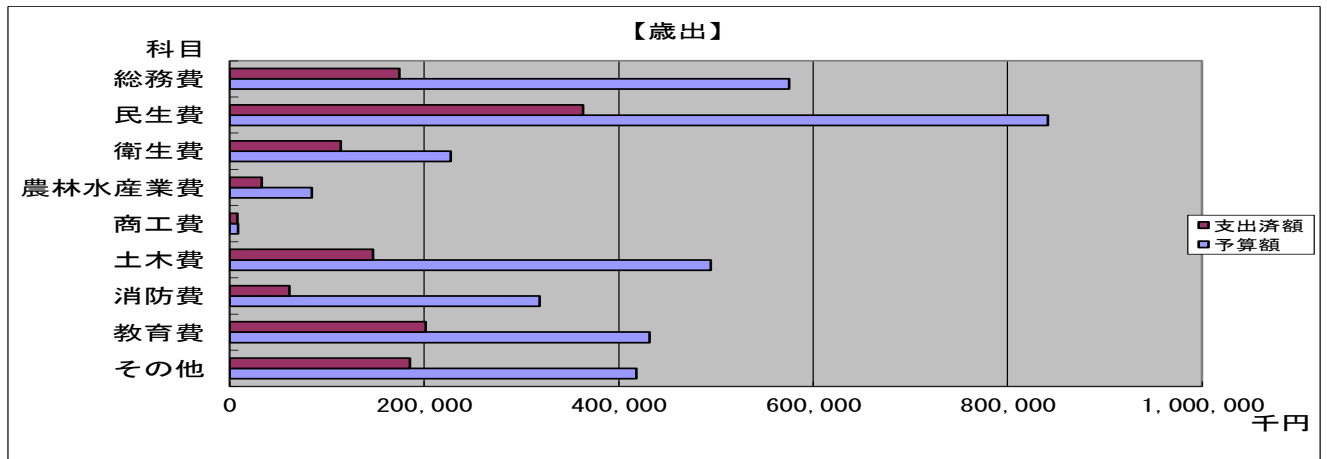
平成 24 年度一般会計の執行状況は、第 3 図及び別表 2-1 のとおりです。

歳入では、平成 24 年 9 月末で収入済額 1,616,907 千円となっており、予算総額 3,399,703 千円（前年度からの繰越を含む）に対して 47.6%で前年度（前年同期 55.4%）に比べ 7.8 ポイント下回っています。

歳出では、支出済額 1,287,353 千円であり、予算に対して 37.9%で前年度（前年同期 39.6%）に比べ 1.7 ポイント下回っています。

第 3 図





② 特別会計

特別会計の補正は、9月定例会までに総額 63,501 千円を増額しました。歳入においてはそれぞれの特別会計の繰越金確定に伴う増額補正を行なっています。

歳出においては国民健康保険・介護保険会計の繰越額確定に伴う基金積立てのほか、各特別会計において年度精算に伴う諸支出金の増額や一般会計への繰出金などの追加補正を行なっています。

・執行状況 (9月末現在)

平成 24 年度特別会計の執行状況は、第 4 図及び別表 2-2 のとおりです。

第 4 図

